



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	研究会報
Citation	独語独文学研究年報, 27, 74-77
Issue Date	2000-12
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/26129
Type	departmental bulletin paper
File Information	27_P74-77.pdf



研究会報

講義題目（2000年度）

独語学概論 I	ドイツ語圏の言語と文化	植木 迪子
独語学概論 II	初期新高ドイツ語とドイツ語史	清水 誠
独文学史概説 I	ドイツ文学と文学史記述の問題	山田 貞三
独文学史概説 II	近代西ヨーロッパ文学の歴史	石原 次郎
独語学 I	第2言語習得入門（1）	植木 迪子
独語学 I	第2言語習得入門（2）	植木 迪子
独文学 I	パウル・ツェラーンの詩（1）	西村 龍一
独文学 I	パウル・ツェラーンの詩（2）	西村 龍一
独文学 I	ドイツ語作文	Michael Schart
独文学 I	Themen Neu	Birgit Fuchs
独文学 I	劇場と都市—東京とベルリンにおける 劇場展開に関する史的考察	井戸田総一郎
独語学 II	Deutsche Sprache: Dialekte und Regionen (Mittelstufe II)	Christine Kühn
独語学 II	Geniessen auf gut deutsch (Mittelstufe III)	Christine Kühn
独文学 II	読書論（1）	山田 貞三
独文学 II	読書論（2）	山田 貞三
独語学基礎講読	中級ドイツ語	神 久聡
独文学基礎講読	中級テキスト読解	石原 次郎
独語学基礎演習	Grundkurs Deutsch (Mittelstufe I)	Christine Kühn
独語学基礎演習	Grundkurs Deutsch (Mittelsufe I)	Christine Kühn
独文学基礎演習	「古典」を読む（1）	山田 貞三
独文学基礎演習	「古典」を読む（2）	山田 貞三
独語学演習	Sprechen für Fortgeschrittene (Mittelstufe II)	Christine Kühn
独語学演習	Hörverstehen für Fortgeschrittene (Mittelstufe II)	Christine Kühn
独語学演習	ドイツ語の方言と地域的特徴（1）	清水 誠
独語学演習	ドイツ語の方言と地域的特徴（2）	清水 誠
独文学演習	文学研究の方法論（1）	石原 次郎
独文学演習	文学研究の方法論（2）	石原 次郎
独語学演習	社会言語学演習 1	植木 迪子
独語学演習	社会言語学演習 2	植木 迪子
独語学演習	古ゲルマン諸語（1）	清水 誠
独語学演習	古ゲルマン諸語（2）	清水 誠
独文学演習	現代文学の言葉（3）	山田 貞三
独文学演習	現代文学の言葉（4）	山田 貞三
独文学演習	ドイツの文学教育（1）	石原 次郎
独文学演習	ドイツの文学教育（2）	石原 次郎
独語学特殊講義	Deutsch - Japanische Diskurse	Christine Kühn
独文学演習講義	Sprache in Film	Christine Kühn

研究会行事記録

◎ 2000年2月10日に北海道大学文学部301号室において1999年度卒業論文発表会が開かれた。

〈留学関係〉

◎ 2000年8月に香川千穂氏がミュンヘン大学へ留学のため出発した。

◎ 2000年9月に井上暁子氏がワルシャワ大学へ留学のため出発した。

☆ 2000年5月27日に年報の総会が行なわれ、幹事選出、新会員の紹介等が行われた。

1999年度 独語独文関係の論文題目

卒業論文

香川千穂：ネリー・ザックスの詩『HÄNDE』の解釈

志比川啓子：翻訳によって生じる呼称の使い分けのずれ — 村上春樹のドイツ語訳を題材に

林智恵子：身体の部分を含む慣用句の日独比較

淵上玲子：無意味と笑い

山本信：売れる本のモード分析

修士論文

阿部和夫：1910年代ドイツにおける政治的文学活動の諸相
—表現主義作家を中心として—

大沼良江：古アイスランド語におけるerの考察

博士論文

シャイフェレ馨子：Die IPP-Konstruktion im Deutschen. Aus generativ-komparativer Sicht

北海道大学ドイツ語学・文学研究会会則

1. 本会は北海道大学ドイツ語学・文学研究会と称する。
2. 本会はドイツ語学・文学の発展に寄与することを目的とする。
3. 本会は上の目的達成のため、下記の事業を行なう。
 - 1) 機関紙「独語独文学研究年報」を毎年1回発行する。
 - 2) 合評会、研究会、講演会等を随時行なう。
4. 本会員は北海道大学文学研究科・独語独文学関係の教官・院生ならびにその趣旨に賛同するものによって構成される。

本会員は上の活動の遂行のため所定の会費を払う。

本会は1名の会長と若干名の幹事をおく。幹事は会計および編集委員を兼任する。

本会の会計年度は毎年4月1日に始まり3月31日をもって終わる。

本会の事務局は北海道大学文学研究科におく。

本会に賛助会員をおく。

☆ 執筆原稿規定

ページ数 : 14ページ程度。

1ページの文字数・行数は任意。ただし35～37行程度が望ましい。

原稿の大きさ : A4

論文題目 : 原稿1ページ目の最上段、中央に、太字・ゴシックで多少大きめに記載する。

二行にわたっても構わない。

また別紙にドイツ語、欧文による題目を記載する。

注釈・文献 : 注釈は奥付けとする。注釈番号はアラビア数字で右カッコ付き。

参考文献については、注釈内に記載することが望ましい。

執筆者氏名 : 原稿1ページ目の3行目(題目との間に1行開けること)、太字・ゴシックで右端に記載する。

身分の明記 : 原稿末に丸括弧つきで、右寄りで身分を明記する。

締め切り : 10月31日

会 員 名 簿

※青柳 謙 二	○阿部 和 夫	石川 克 知	石原 次 郎
伊藤 祐紀子	井上 暁 子	岩井 洋	岩田 聡
◎植木 迪 子	臼 渕 幸 子	梅 津 真	江口 豊
○大沼 良 江	岡田 麻 子	小川 了	荻原 達 夫
小澤 幸 夫	香川 千 穂	※川島 淳 夫	川東 雅 樹
岸川 良 蔵	佐藤 修 子	佐藤 俊 一	塩谷 幸 子
清水 誠	神 久 聡	真貝 恒 平	鈴木 将 史
鈴木 玲 子	○瀬野 晶 子	高橋 修	田中 智 美
田中 剛	対馬 晃	寺田 龍 男	中川 勝 昭
中 祢 勝 美	名執 純 子	名執 基 樹	西川 智 之
シャイフェレ馨子	藤本 純 子	○前原 真 吾	最上 英 明
森田 一 平	山田 恵 子	三浦 國 泰	山田 貞 三
山田 善 久			

◎は会長

○は幹事

※は名誉賛助会員

独語独文学研究年報 第27号

(Nenpo. Jahresbericht des Germanistischen Seminars der Hokkaido Universität)

2000年12月発行

発行者	北海道大学ドイツ語学・文学研究会
編集委員	阿部 和夫 大沼 良江 瀬野 晶子 前原 真吾
連絡先	北海道大学文学部独語独文学研究室内
	〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
印刷所	北大印刷